



投稿フォトギャラリー

撮影者 撮影日 撮影場所

秋のサイン

撮影者 西原良典さん 撮影日 平成25年9月
撮影場所 中央森林公園(本郷町上北方)



瀬戸の名月

撮影者 藤原敏明さん 撮影日 平成25年9月
撮影場所 竜電王山(沖浦町)



秋の朝焼け

撮影者 岸本裕美さん 撮影日 平成25年9月
撮影場所 幸崎能地二丁目

白竜ドーム

撮影者 櫻谷川敏子さん 撮影日 平成25年9月
撮影場所 白竜湖スポーツ村公園(大和町和木)



投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 5日(火)(必着)
応募資格 市内に在住か通勤・通学の学生
募集枚数 1人1枚
選考 秘書広報課で選考
※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真の返却は行いません。
※広報誌で紹介できなかった写真は、市ホームページへ掲載することもあります。
申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影

者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を秘書広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 hishokoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ



▲季節をテーマにした作品が利用者の心を和ませています

大和町の神田公民館。玄関ホールに季節の飾りが、訪れる人の間で話題になっています。「子どもの頃の風景を思い出す」「次はどんなになるのか楽しみ」。作品を囲み、話に花が咲きます。制作しているのは西サカエさん。春に「二度だけ」と作った花の雛飾りが評判になり、周りの強い勧めもあつて続けることに。以来、作品は季節を彩る公民館の

故郷の風景に思いをはせて

顔になっています。

「材料を貸してくれたり、花の水を換えてくれたり、周りの人が助けてくれる。私はまとめていくだけ」と西さん。作品が自然と心を和ませるのは、たくさん人の温かさが込められているからなのかもしれません。

もともと自然が好きで、野の草花で花を生けるのが趣味。作品の根底にあるのは故郷の風景です。「昔を知っている人には懐かしさ、若い人には新鮮さを感じてほしい」と話します。



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。



神田公民館で季節の飾りを展示している西サカエさん